

万博で夢見たサイエンス展

展示場1階で2024年12月6日～2025年4月6日の会期で、企画展「万博で夢見たサイエンス展」を開催しています。2025年4月13日から開催予定の大阪・関西万博(EXPO2025)を前に、万博の価値を日本万博(EXPO'70)の特にサイエンス分野の内容で紹介しています。

1851年にロンドンではじまった万博では、エレベータや電話など当時「夢のような」科学技術が紹介され、その後社会に広がりました。人々の万博体験で見たサイエンスの夢が、未来社会を拓いたと言えます。

今回の企画展では、EXPO'70で話題になったタイムカプセルを封入物もふくめ紹介するほか、人間洗濯機や動く歩道など当時人々が夢中になった科学技術を映像やパネルで紹介します。

また、前期12月6日～1月25日には「コンピュータ」をテーマにEXPO'70のアイ・ビー・エム館で使われたものと同型の大型コンピュータ IBM System/360の実物を展示。万博の時代から現在に至る様々なコンピュータを通じて、コンピュータが社会に溶け込んでいったかを見ていただきます。

後期2月5日～4月6日は「宇宙」をテーマに、EXPO'70アメリカ館で話題になった月の石(※)やロケット、宇宙服などの宇宙開発を紹介。最近の日本の宇宙探査も紹介し、当時

の夢が身近なものへとつながっていることを紹介します。

企画展を通じて、万博への期待も膨らませてください。

渡部 義弥(科学館学芸員)

2月から展示予定の「月の石」

(※)展示するのはEXPO'70とは異なるアポロ15号の月の石です



1970年万博会場の現在



IBM System/360



学芸員の展示場ガイド

「学芸員の展示場ガイド」では、いろんな展示を動画で紹介する予定です。ホームページからアクセスできますので、ぜひご覧ください!(近日公開)